

7/3 東日本原種豚場の新豚舎竣工 東北地方から九州地方までの地域に種豚を供給

御明神地区上野に建設されていた東日本原種豚場の新豚舎が竣工を迎え、猿子町長や全農畜産サービス(株)(本社東京都)の米倉浩司代表取締役社長らが出席し、竣工式が行われました。今回竣工した新豚舎は、主に豚の品種改良と、日本各地に種豚の供給を担うもの。運営に当たっては発生した汚水を施設内で浄化処理するなど、周辺環境に配慮しながら日本の食を支えています。



▲関係者が一堂に会し竣工を祝いました

7/26 第19回ふれあいコンサート in 雫石 日本屈指の芸術大学の演奏が観客を魅了

第19回ふれあいコンサート in 雫石が野菊ホールで開催されました。今年も東京藝術大学音楽学部器楽科の学生ら30人が来町。町内の合唱団とのコラボ曲「パプリカ」や雫石中学校吹奏楽部との「ガルーダの翼」、東京藝大による名曲の数々が多くの観客を楽しませました。演奏会の最後は観客も一緒になった「ふるさと」の大合唱で締めくくられ、タイトルどおりの「ふれあいコンサート」となりました。



▲合唱団とのコラボには中学生も参加

8/4 いつまでも元氣にご長寿で 山崎サオリさんがめでたく満100歳

山崎サオリさん(1926年7月28日生まれ・小松)が、めでたく満100歳の誕生日を迎えられ、はーとぽーと雫石で百賀の祝いが開かれました。

山崎さんは農家として長年にわたり米や野菜の生産に携わりました。現在は早寝早起きをして、食事もしっかり取るなど健康的に毎日を送りながら、ぬり絵や計算問題、施設で行っている歌体操を楽しんでいます。



▲ご家族と一緒に満100歳を祝った山崎さん(中央)



▲食の匠の築場さんにかまやきの作り方を教わる児童ら

8/6 しずくいし子育て子ども食堂2026夏編 雫石の郷土料理に親しむ

子どもの孤食を防ぎ、地域・企業と連携し全世代が交流できる子どもの居場所づくりとして例年開催している「しずくいし子育て子ども食堂」。2026年の夏編が「食の匠に郷土料理を教わろう」と題し、御所公民館で開催されました。町内小学校児童と保護者ら21人が参加し「岩手県食の匠」の松原れい子さん、築場五月さんと一緒に、雫石の郷土料理「かまやき」を始め、枝豆おにぎりや豚汁作りなどを楽しみました。

8/16

第48回雫石町御明神夏まつり 地域の夏を彩る伝統行事

第48回雫石町御明神夏まつり（御明神みらいづくり協議会主催）が御明神公民館駐車場を主会場に開催されました。恒例の盆踊り大会や大抽選会、伝統的な舟っこ流しやとうろう流し、夜空を彩る花火大会に会場はにぎわいを見せました。

舟っこ流しは、花飾りや提灯などで装飾された2隻の舟に送り火を灯し竜川へ。祖先の霊を送り、無病息災を祈りました。赤々と燃える舟が川をゆっくりと流れた後、大きな花火が夜空を鮮やかに彩りました。

長年にわたり地域の伝統行事として受け継がれてきた御明神夏まつりですが、昨今の人口減少や少子高齢化の影響のため、存続の岐路に。祭りの維持・継承のため、町は今年、単なる資金調達にとどまらない新たな担い手確保の試みとして、ふるさと納税制度を通じたガバメントクラウドファンディングを実施し、全国から寄付を募集しました。結果は、多くの支援を受け目標金額を達成。花火の打ち上げ費用や会場運営費に充てられたほか、来年度以降の持続的な祭り運営に活用され、今後も、ふるさと納税の風景を未来へつないでいく取り組みが続きます。



▲たくさんの人が参加し盛り上がった盆踊り大会



▲手がけた舟を川に流す御明神舟っこ作り有志



8/7

企業版ふるさと納税 地域の活性化と持続可能な地域創生のため

SMFL みらいパートナーズ(株)（上田明代表取締役、本社東京都）より、企業版ふるさと納税制度を活用したご寄付をいただき、町役場で感謝状の贈呈式が行われました。

同社は鶯宿温泉内にある旅館のリニューアルオープンにも協力。猿子町長は「鶯宿温泉は歴史と風格がある。温泉宿の復活にご尽力いただき感謝申し上げます。ご寄付は町の発展のために活用させていただきます」と感謝を伝えました。



▲ SMFL みらいパートナーズ(株)の山崎秀之不動産本部長（左）

8/9



ベアレン雫石工場でホップ収穫感謝祭を開催。来場者は雫石工場で作られた出来立ての樽生ビールや工場見学などを楽しみました。

7/26



天皇杯・皇后杯 JVA 全日本バレーボール選手権大会岩手県ラウンドで、滝石クラブが初優勝。9月26日からの東北ブロックラウンドへ出場します。

6/26



第19回滝沢・雫石連合畜産共進会が開催され、澤目継秋さん（片子沢）らが名誉賞を受章しました。

台風や大雨による 浸水・土砂災害に注意しましょう

台風と大雨の発生が相次いでいます。大雨による土砂災害や水害から身を守るため、あらかじめ自宅周辺における災害リスクや避難経路および避難情報の入手方法などを確認し、もしもの場合に備えましょう。また、避難する場合は、周りの人に声を掛け合って明るいうちに避難するようお願いいたします。☎防災課 ☎ 692-6490

防災マップ



自宅が洪水浸水想定区域または土砂災害警戒区域などに入っているかを防災マップで確認し、避難が必要な場所かどうか前もって確認しましょう。



町防災マップ

避難所以外の避難場所



自宅が危険な場合は、避難所以外に親戚や友人宅などへの避難が可能かどうか、また、やむを得ない場合は上階への垂直避難など、できるだけ安全な場所へ避難してください。



@ InfoCanal (アットインフォカナル)



町は、防災行政無線の内容や災害情報を受信できる防災アプリ「@ InfoCanal(アットインフォカナル)」を運用しています。大雨などの災害時は防災行政無線の音が聞こえにくいことや、聞き間違える可能性があり、文字で情報を得ることが有効です。ぜひ登録をお願いします。



詳しくはこちら

自助の意識を持つ



災害発生当初は、避難所に水や食料なども含め備蓄品が十分に行き渡らない場合があります。自分の身は自分で守る危機意識を持ち、事前の準備をお願いします。



あとがき

- 暑かった日々も落ち着き始め、秋めいた日が増えてきました。先日、夜に窓を開けて寝たら、みごとに翌朝体調不良になりました……朝夕の寒暖差も大きくなり、インフルエンザも流行ってきているようですので、皆さんも体調管理にお気を付けください。(横)
- 乗り物広場のローラー滑り台が来春リニューアルされるそうです。約40年前のオープン当時、ワクワクしながら滑りに行き、何往復もしたのを思い出します。大人になってからは娘と一緒に滑り、お尻を痛めたのも今では良い思い出。この秋は子どもたちを連れて、楽しく滑り納めたいと思います。(高)

雫石町公式エクスプレス @shizukukouhou
防災行政無線が聞き取れなかったときは…
電話応答サービス ☎ 019-692-6371 を
ご利用ください。

句会記録「吟風会 衆議判」

ぎんぼうかいしゅう ぎはん

町歴史民俗資料館の収蔵品をご紹介します！



☎町歴史民俗資料館
入館料 大人 150 円
(高校生以下無料)
開館時間 9 時～16 時
休館日 木曜日定休
☎ 692-3942

藩政時代以降、各地で句会が盛んに催され、雫石町も例外ではありませんでした。それぞれが持ち寄った俳句に点を入れ、批評し合います。高得点作品には「天賞・地賞・人賞」が与えられます。この資料はかつて雫石町内で催された句会「吟風会」の記録集です。時は 1897 年 9 月 18 日、場所はかつての上長山小学校です。題は「稲妻」「女郎花（おみなえし）」で、いずれも秋の季語です。「広き野に涼に出でたか女郎花（おみなえし）」130 年前の雫石町が彷彿としてみませんか。



雫石の情報発信番組 虹の似合うまち雫石町情報 放送予定日のお知らせ

9 月 18 日、10 月 2 日、10 月 16 日 (毎月第 1・3 金曜日) /IBC ラジオ (AM 684kHz) /8 時 45 分～50 分 (5 分間)